

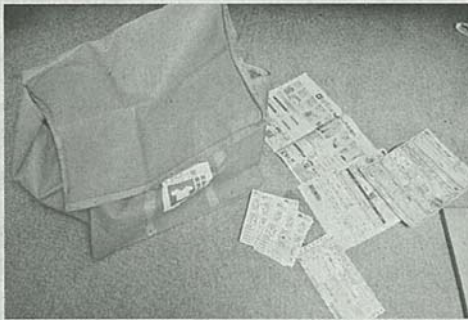
マネー

クリーニング保管サービス

春らしくなり、冬物の衣類を収納する季節になってきた。コートやセーターなどかさばる冬物は、クリーニングとセットになった保管サービスを利用するとクローゼットがすっきりする。

自宅で注文

東京都新宿区の会社員、松垣守さん(53)は「仮名」は数年前から、季節の衣類を保管してくれる宅配型クリーニング保管サービス「イー・クローゼット」(☎0120・35



「せんたく便 保管パック30」の集荷キット。専用バッグのほか、支払い方法やクリーニングに出す服の種類と数を記入する申込書、傷やシミ、プレス希望の有無などを知らせる指示シールなどが入っている。

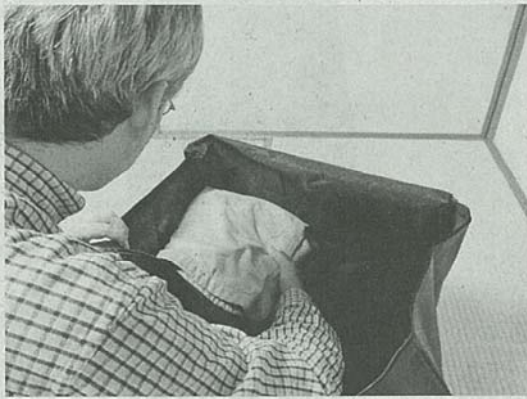
収納増やしてすっきりと

・0985)を春と秋の年2回、利用している。春には冬物、秋には夏物のクリーニングを依頼。それぞれ半年程度保管してもらうことで自宅の収納スペースを有効に使っている。

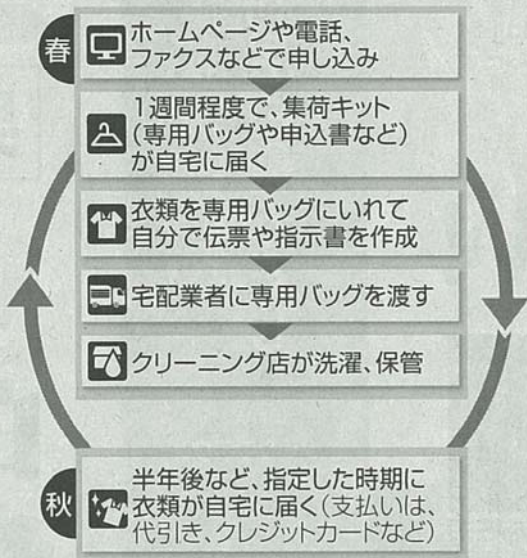
このサービスは、喜久屋(東京都足立区)が10年前に開始。店舗に向く必要がない便利さが受け、約1万人が利用しているという。

クリーニング保管サービスには、洗濯物一点ずつ注文する個別型と、15点、30点など春と秋の年2回、クリーニング保管サービスを利用して松垣さん。「クローゼットが広々と使える」という

東京都新宿区



クリーニング保管サービスの主な流れ(宅配)



まとめて注文するパック型がある。ヨシハラ(滋賀県彦根市)の「せんたく便 保管パック30」(☎0120・096・929)は、85%の専用バッグにスーツやコートなど30点が詰め放題で1万1929円(送料込み)。最長で9カ月間、保管してくれる。実際に記者が詰めてみる

増える宅配クリーニング 無店舗取次店が2年で4倍

厚生労働省の衛生行政報告によると、クリーニング取次店が年々減少する中、宅配クリーニングなど店舗なしで営業する無店舗取次店が増加している。無店舗取次店は、平成21年度の386業者から23年度は1692業者と、2年間で4.3倍に増えた。

しかし、利用者の増加で紛失や破損などの事故も増えているとされ、信頼できる業者を選ぶことが重要だ。

万一、預けた服が戻って来ないなどの場合、まずは業者に連絡する。対応に納得できない場合は地域の消費者センターに連絡し、「クリーニング事故賠償基準」に沿って解決を図るとい

と、スキーウェア上下各2▽ダウンコート1▽ダウンジャケット1▽ウールコート1▽ジャンパー1▽バック1▽ズボン3▽上着1▽スカーフ2▽ワンピース1▽カーディガン2▽ストール1▽マフラー3の計23点が入り、クローゼットが広くなった。

絨毯やホットカーペットのクリーニング保管に力を入れる店もある。「クリーニングの材質や大きさによって異なるが、クリーニング後に半年間、預かる。クリーニング代(1万円以上、送料無料)は絨毯

取次店も無料で

喜久屋は4月から、東京都内を中心に約130店ある取次店でも半年間の無料預かり「シティックロゼット」を開始。宅配型と比べて3割程度安くなるという。宅配型は春と秋の集荷期間が決まっているが、取次店では一年中利用できる。

小栗成登(しげのり)管理部長は「都心の住宅は戸建てでも収納スペースが小さい。将来的には加湿器やスキー板など生活上でメンテナンスが必要なのは全て保管するサービスを『目指したい』と話している。」(村島有紀)